



ふれあい 放水路

2005
(平成17年)
第136号
7月



【葉たばこの花】

葉たばこ

出雲市西園町上長浜地区の一角で葉たばこの栽培が行われています。一見するとひまわりの葉のようにも思われるこの大きな葉っぱが煙草の原料になる葉たばこです。

草丈が一七〇センチほどになり、葉の大きさは幅が三十センチ、長さが七十センチくらいになります。国内では、東北から九州、沖縄までの広い地域で栽培されており、そのほとんどが大手煙草会社との契約栽培となっているようです。

葉たばこは、南米原産のナス科に属する植物で、その葉を乾燥させて「煙草」の原料に使用します。葉っぱだけのイメージがありますが、葉たばこには薄ピンクのかわいらしい花が咲きます。しかし、葉の成長を促すために摘み取られるため、なかなか花を見る機会には巡り会えません。

こうして大きく育った葉たばこは、六月中旬から八月中旬頃にかけて収穫の最盛期を迎えます。


境橋撤去の概要について

斐伊川放水路事業に伴い、新橋の架け替えが完了し、道路としての役割を終えた国道431号境橋の撤去工事について紹介します。

境橋は、昭和54年に神戸川に架けられた東園町と大島町にまたがる国道431号の橋で、国道9号から長浜工業団地および出雲大社へのアクセス道路として重要な役割を果たしてきました。

斐伊川放水路事業により、新しい境橋が開通したため、旧橋廃止の運びとなり、およそ25年の歴史に幕を閉じることとなりました。

現場からひとこと



当工事は、4月から工事を始め、大島町側半分の取り壊しを終え、東園町側の半分は10月から取り壊す予定です。
 工事期間中は、地域の皆様のご指導ご協力を得ながら無事工事を終えたいと思っております。

境橋撤去他工事現場代理人
倉橋 慎一



作業の流れ



橋の撤去を前に、旧橋への感謝の気持ちと工事の安全を願って感謝祭が行われました。

平成十七年四月 橋の取り壊し作業を開始しました



①床版を大型ブレイカーで取り壊します。



②クレーンで橋桁の撤去を行い、切断した後トラックで運び出します。



③橋脚をコンクリート破砕機で取り壊します。取り壊したコンクリートは骨材に再生し、有効利用します。

ふれあい放水路

通信

季節の風物詩 藻刈り船始動

新内藤川で藻刈り船による川の清掃作業が始まりました。川面に響くエンジン音は初夏の風物詩にもなっています。

この作業は、川に繁殖した藻が川の流を妨げ、水田への水の供給に支障をきたさないよう、また、水害の要因にならないようにと出雲市の方で毎年行われているものです。

新内藤川の他に、午頭川、赤川、古内藤川など

市内七河川、延長

三十キロを対象に、

今後、清掃作業は

来年三月末まで行

われる予定です。



▲新内藤川清掃風景（長浜地区）

現場で活躍する

大型建設機械

現在、放水路工事では、開削部の掘削工事や拡幅部の河道掘削工事を行っています。これらに使用する建設機械は、それぞれの役割を分担して作業をしています。

その中から今回は、ブルドーザーの役割を紹介いたします。

ブルドーザーは土砂を掘削しながら集めるのが主な仕事です。そのために前方にブレード（排土板）を取り付けています。写真の機械は国内最大級で、重量約百トン、エンジン出力は八百馬力以上あります。岩盤などの堅いところは、後方についているリッパ（爪）を岩盤に立てて引っ掻く様にして、岩盤に亀裂を入れて砕きます。砕かれた岩盤は、土砂と同様にブレードで集めていくことが出来ます。

放水路では、この他にも、超大型建設機械が活躍しており、事業の方も順調に進んでいます。引き続き、みなさまのご協力をお願いします。



国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩治有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp
ホームページ http://www.izumokasen-mlit.go.jp/

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路推進室 事業対策官

後方から見た図



前方から見た図